

ビショップの最も重要な責任：キリストのもとに来るように若い世代を助ける

ディータ・F・ワークトドルフ長老とボニー・H・コードン会長



主は、ビショップの重荷を軽減できる有用なツールを用意し、ビショップが子供、青少年、ヤングアダルトをキリストのもとに来るのを助けるときに、さらに効果的に働けるようにされました。

1. ワード評議会は一致協力して、若い世代を強めるために働きかけます。

- ・ワード評議会集会では、頻繁に若い世代を議題として取り上げます。
- ・ワードのすべての組織とともに評議します。

2. 親は子供たちにイエス・キリストを信じる信仰を教える責任があります。

- ・親を強めることによって青少年を強めるために、ワード評議会を活用します。
- ・忠実な教師や良き相談相手、ミニスタリングブラザーやシスター、その他の会員と協力して、親を支援します。

3. 奉仕する機会は、若人が信仰を築く際に大きな助けになり得ます。

- ・ワード青少年評議会集会を使って、クラスや定員会の会長会を指導し、ともに評議します。バプテ

スマや神権の聖任、祝福師の祝福、神殿の儀式、あるいは聖餐など、次の儀式に備える同年代の若人を助ける方法について話し合うよう働きかけます。

- ・青少年に、青少年の良き相談相手になれる同僚とのミニスタリングの割り当てを提供できるよう働きかけます。
- ・ヤングシングルアダルトに、FSYのカウンセラーとして、青少年の生活に有意義な変化をもたらすように勧めます。

4. 「青少年の強さのために」は、若い世代がキリストを信じる信仰を強める助けになります。

- ・日曜日の集会やクラス、青少年の活動、ユースカンファレンスやキャンプ、面接、その他の話し合いで、「青少年の強さのために」のガイドを活用します。それを子供と一緒に読むよう親に勧めます。

5. 宣教師としての奉仕は、弟子としての生涯の基盤を築きます。

- ・2022年4月総大会からラッセル・M・ネルソン大管長の「平和の福音を宣べ伝える」、M・ラッセル・バラード会長の「人生に永遠の祝福をもたらしてくれた宣教師としての奉仕」のメッセージを再度教えます。
- ・宣教師の備えを早い時期から行います。それは初等協会から始まり、アロン神権や若い女性の年代を通し継続して行います。
- ・福音を分かち合うことについて、子供や青少年と、早い段階から頻繁に話します。日常生活の中でどのように愛し、分かち合い、招くかを理解できるように助けます。
- ・愛し、分かち合い、招くという原則を適用する機会を、若い人々に数多く提供してください。

